

2007 年度

科目名 文化財特殊講義Ⅲ（美術・工芸）B	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者 阪田 宗彦
授業テーマ 仏教美術		
授業の概要と目標 多様に展回した仏教工芸はわが国の工芸の主流を占めている。しかし、その多様な内容は理解しがたく、その愛好ぶりは一部のコレクターに限られているのが現状である。本講では系統的に分類して、その理解をはかり、わが国の工芸制作の原点となった個々の作品にみる意匠、技法、造り等のすばらしさを確認しようとするものです。スライド・レプリカ・ビデオ・DVDを使います。		
評価方法 レポートでの評価に加え、発表、出席点も重視します。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 供養具 香・華・燈、飯食（1） 2. 供養具 香・華・燈、飯食（2） 3. 供養具 香・華・燈、飯食（3） 4. 供養具 香・華・燈、飯食（4） 5. 僧具 6. 梵音具（1） 7. 梵音具（2） 8. 密教法具 雑密系、純密系、根本法具、補助法具（1） 9. 密教法具 雑密系、純密系、根本法具、補助法具（2） 10. 密教法具 雑密系、純密系、根本法具、補助法具（3） 11. 山岳・修験関係品 12. 花と仏教工芸 13. 正倉院宝物にみる仏教工芸 14. 木漆工、金工、反革、牙角、……制作技法 15. 仏教工芸品の源流		